

# 自由定期付積立型新変額保険

## 投資型ユニバーサル保険 Prime Life

### 2020年度 特別勘定の現況

#### ●投資環境(2020年度)

##### 日本株式市場

当年度、日本株式市場は上昇しました。

前年度末に新型コロナウイルス感染拡大の影響が懸念され急落した日本株式市場は、主要各国の大規模な財政・金融政策などが好感され年央にかけて回復しましたが、その後は11月の米国大統領選挙を控えて政治的な不確実性が高まったことなどから方向感のない展開となりました。年度後半は、米国大統領選挙でバイデン民主党候補の勝利を受けた大型財政出動への期待や、欧米で新型コロナウイルスワクチン実用化への期待が高まったことなどから、日本株式市場は上昇しました。米国の財政支出拡大などによる長期金利の上昇が嫌気され日本株式市場は弱含む局面もありましたが、米国の追加経済対策成立への期待から年度末にかけて堅調に推移しました。

##### 外国株式市場

当年度、外国株式市場は上昇しました。

年度前半は、新型コロナ感染拡大による都市封鎖が解除されたことに伴う経済活動の再開や、米国などで景気回復を示す経済指標が発表されたことなどが好感され、外国株式市場は上昇基調で推移しました。その後は、欧州などで新型コロナの感染者数が増加し都市封鎖が再度実施される懸念が高まったことなどから、外国株式市場は下落する場面もありましたが、欧米の製薬会社が開発したワクチンが有効性を示したことなどが好感され、外国株式市場は上昇しました。年度末にかけても、米国で大規模な財政支援策が成立したことなどを背景に外国株式市場は上昇基調が続きました。

##### 日本債券市場

当年度、10年国債利回りはおおむね横ばいとなりました。

年度初、新型コロナの感染拡大を背景に不安定化した金融市場が落ち着きを取り戻したことに伴い、10年国債利回りは低下しました。その後、安倍首相の退陣や米国大統領選挙などの政治的な不透明感のほか、新型コロナの感染動向などが意識され、10年国債利回りは0～0.05%程度の狭いレンジ圏で推移しました。2021年以降、主要国の景気回復期待などを背景に10年国債利回りは一時0.17%程度まで上昇する局面もありましたが、その後は各国中央銀行の金融緩和姿勢の維持などを背景とした投資家の需要回復に伴い低下し、0.10%程度の水準で年度を終えました。

##### 外国債券市場

当年度、米国債利回りは上昇しました。

年度前半から半ばにかけて、米国での新型コロナの感染拡大や、FRB（米連邦準備制度理事会）が2023年末までゼロ金利政策の維持を表明したことなどをを受けて、米国債利回りはおおむね低位で推移しました。年度末にかけてはバイデン米大統領による大規模な財政支援策が成立したことなどを背景に米国債利回りは大幅に上昇しました。

ドイツ国債利回りは小幅に上昇しました。

年度初、欧州において新型コロナの感染が拡大し、ユーロ圏の経済指標が悪化したことなどをを受けてドイツ国債利回りは低下しました。その後も、欧州での新型コロナの感染再拡大や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の高まりなどにより、ドイツ国債利回りは低下基調で推移しました。年度末にかけては、欧州復興基金の設立などをを受けて、ドイツ国債利回りは上昇基調で推移しました。

##### 外国為替市場

米ドル円相場は、円安米ドル高となりました。年度前半から半ばにかけて、新型コロナの感染拡大を受けてFRBが大規模な金融緩和政策を講じたことや2023年末までのゼロ金利政策維持を表明したことなどを背景に円高米ドル安基調となりました。2021年以降は、米国で大型の追加経済対策実現への期待や新型コロナワクチンの接種進展などを背景に米国経済の先行きに対する懸念が後退し、円安米ドル高が進行しました。

ユーロ円為替レートは、欧州復興基金の設立などを背景に円安ユーロ高が進行しました。

#### ●運用実績の推移および運用方針

- |             |   |
|-------------|---|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。                             |
| ②当期の運用方針    | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。               |
| ③今後の運用方針    | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2020年度決算(決算日：2021年3月31日)を行いました。当資料は2020年度の運用状況をご報告するものです。  
4ページ以降は特別勘定レポート(2021年3月末現在)からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。



\*400601\*

## ●特別勘定資産の内訳(2020年度末)

(単位：千円)

区分	金額			
	世界株式 CA	日本株式 FA	日本株式 BA	アセット・アロケーション SA
現預金・コールローン	16,891	3,938	3,548	11,224
有価証券	1,087,868	198,257	177,504	1,000,610
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-
その他の証券	1,087,868	198,257	177,504	1,000,610
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	10,294
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	1,104,760	202,196	181,053	1,022,129

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額			
	世界バランス DSA	世界債券ヘッジ MA	世界債券 MA	マネー・プール B
現預金・コールローン	5,013	2,320	2,674	71,507
有価証券	246,799	122,441	145,343	-
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-
その他の証券	246,799	122,441	145,343	-
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	251,812	124,761	148,018	71,507

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の運用収支状況(2020年度)

(単位：千円)

区分	金額			
	世界株式 CA	日本株式 FA	日本株式 BA	アセット・アロケーション SA
利息配当金等収入	26,321	3,837	8,600	85,321
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	655,652	91,564	86,691	504,179
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	308,064	22,559	40,633	243,447
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	373,909	72,842	54,658	346,053

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額			
	世界バランス DSA	世界債券ヘッジ MA	世界債券 MA	マネー・プール B
利息配当金等収入	7,036	1,521	3,565	-
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	122,842	7,095	25,593	-
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	59,023	9,125	21,636	-
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	70,855	-508	7,522	-

※単位未満切捨て

## ●有価証券の売買状況(2020年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界株式 CA	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1* <sup>1</sup>	-	-	24,118	21,053
日本株式 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3* <sup>1</sup>	-	-	3,122	5,346
日本株式 BA	日本株式インデックス・ファンドVA1* <sup>2</sup>	1,541	3,300	8,314	9,255
アセット・アロケーション SA	さわかみファンド	-	-	64,808	100,844
世界バランス DSA	大和住銀グローバルバランスファンド SVA	4,347	16,100	4,109	8,600
世界債券ヘッジ MA	JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）	11,131	15,600	13,713	17,589
世界債券 MA	JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）	8,125	15,500	10,479	16,462
マネー・プール B	-	-	-	-	-

※単位未満切捨て

\* 1 適格機関投資家専用

\* 2 適格機関投資家限定

## ●保有契約高(2020年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
自由定期付積立型新変額保険 投資型ユニバーサル保険 Prime Life	631	6,527

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の内容

特別勘定の名称	銘柄	運用会社	資産運用関係費用(年率)* <sup>3</sup>
世界株式 CA	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1* <sup>1</sup>	キャピタル・インターナショナル	0.77% (税込) 程度
日本株式 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3* <sup>1</sup>	フィデリティ投信	0.968% (税込) 程度
日本株式 BA	日本株式インデックス・ファンドVA1* <sup>2</sup>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	0.275% (税込) 程度
アセット・アロケーション SA	さわかみファンド	さわかみ投信	1.10% (税込) 程度
世界バランス DSA	大和住銀グローバルバランスファンド SVA	三井住友 DS アセットマネジメント 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・ インターナショナル・リミテッド、 ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・ インク	1.078% (税込) 程度
世界債券ヘッジ MA	JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）	ブラックロック・ジャパン	0.858% (税込) 程度
世界債券 MA	JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）		0.858% (税込) 程度
マネー・プール B	特に定めません	特に定めません	金利情勢、投資対象とする 短期金融商品によって変動します。

\* 1 適格機関投資家専用

\* 2 適格機関投資家限定

\* 3 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】2003年12月1日
- 【資産分類】世界株式
- 【運用方針】日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
- 【投資対象となる投資信託】キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	16,891	1.5%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	1,087,868	98.5%
その他	-	-
資産合計	1,104,760	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,104,760	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	172.02	-
2020年 3月31日	158.17	-17.70%
4月30日	171.08	8.16%
5月31日	180.29	5.38%
6月30日	182.62	1.30%
7月31日	191.39	4.80%
8月31日	199.67	4.33%
9月30日	193.16	-3.26%
10月31日	186.34	-3.53%
11月30日	206.70	10.92%
12月31日	212.25	2.69%
2021年 1月31日	212.97	0.34%
2月28日	226.58	6.39%
3月31日	232.34	2.54%
3ヶ月変化率		9.46%
6ヶ月変化率		20.29%
1年変化率		46.89%
3年変化率		35.07%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

- 【運用会社】キャピタル・インターナショナル
- 【運用対象】日本を含む世界主要国の株式など
- 【ベンチマーク】MSCI-World Index

### 運用状況

#### ■国別・地域別内訳※ (2021.3末現在)

国名	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比	ポートフォリオ 銘柄数
北米	69.7%	49.8%	94
アメリカ	66.4%	49.1%	91
カナダ	3.3%	0.7%	3
欧州・中近東	19.2%	33.2%	51
イギリス	4.3%	5.7%	9
フランス	3.4%	8.5%	12
スイス	2.8%	3.7%	7
ドイツ	2.9%	1.9%	4
オランダ	1.3%	4.0%	3
ノルウェー	0.2%	0.7%	1
その他	4.4%	8.7%	15
アジア・オセアニア	11.1%	8.2%	19
日本	7.5%	5.2%	14
香港	1.0%	2.5%	4
その他	2.5%	0.5%	1
その他地域	-	7.2%	9
キャッシュ他	-	1.5%	-
合計	100.0%	100.0%	173

#### ■業種別内訳※ (2021.3末現在)

業種	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比
情報技術	21.3%	22.8%
金融	13.7%	15.0%
ヘルスケア	12.4%	12.5%
一般消費財・サービス	12.1%	10.6%
資本財・サービス	10.9%	10.4%
生活必需品	7.2%	8.8%
コミュニケーション・サービス	9.0%	7.3%
素材	4.5%	3.5%
公益事業	3.0%	3.1%
エネルギー	3.2%	2.5%
不動産	2.7%	2.0%
キャッシュ他	-	1.5%
合計	100.0%	100.0%

#### ■組入上位10銘柄※ (2021.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	2.7%
2 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	2.6%
3 ブロードコム	アメリカ	情報技術	2.0%
4 AIAグループ	香港	金融	1.7%
5 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	1.6%
6 VISA	アメリカ	情報技術	1.6%
7 サフラン	フランス	資本財・サービス	1.5%
8 ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	ヘルスケア	1.5%
9 アップル	アメリカ	情報技術	1.5%
10 アストラゼネカ	イギリス	ヘルスケア	1.4%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2021.3末現在)

2021年3月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに上昇しました。米国株式市場(現地通貨ベース)は、前半は米長期金利上昇が意識されるなかで下落した後、大規模経済対策の成立を受けて上昇に転じました。後半にはFOMC(米連邦公開市場委員会)でゼロ金利政策継続の方針が示された一方で、長期金利上昇への警戒感が再び強まり、上昇幅を縮小する展開となりました。欧州株式市場(同)は、景気回復への期待を背景に上昇しました。セクター別(同)では、生活必需品や公益事業をはじめ、すべてのセクターが上昇しました。当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・マザーファンドを通じてキャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は+4.05%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)における運用に関しては、セクター別では素材やエネルギーにおける銘柄選択、国別ではオランダの銘柄選択などがプラス要因となりました。一方、セクター別では金融や一般消費財・サービスにおける銘柄選択、国別では米国の銘柄選択などはマイナス要因となりました。

当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 日本株式

【運用方針】

日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	177.05	—
2020年 3月31日	147.25	-9.62%
4月30日	154.88	5.18%
5月31日	169.73	9.59%
6月30日	171.46	1.02%
7月31日	174.37	1.70%
8月31日	180.93	3.76%
9月30日	192.88	6.61%
10月31日	190.44	-1.26%
11月30日	210.14	10.35%
12月31日	214.16	1.91%
2021年 1月31日	216.63	1.16%
2月28日	219.35	1.26%
3月31日	222.96	1.64%
3ヶ月変化率		4.11%
6ヶ月変化率		15.60%
1年変化率		51.41%
3年変化率		25.93%

\*ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
\*前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3,938	1.9%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA3	198,257	98.1%
その他	—	—
資産合計	202,196	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	202,196	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】 フィデリティ 投信

【運用対象】 日本株式

【ベンチマーク】 TOPIX (配当金込)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2021.3末現在)

市場	構成比
東証1部	97.0%
東証2部	0.4%
ジャスダック	0.1%
その他市場	0.9%
現金・その他	1.6%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2021.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	24.3%
2 機械	12.8%
3 情報・通信業	8.9%
4 化学	8.9%
5 卸売業	6.9%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2021.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ミスミグループ本社	卸売業	4.5%
2 三浦工業	機械	3.8%
3 キーエンス	電気機器	3.8%
4 リクルートホールディングス	サービス業	3.7%
5 シマノ	輸送用機器	3.2%
6 オリパス	精密機器	2.8%
7 小糸製作所	電気機器	2.2%
8 マキタ	機械	2.1%
9 東京エレクトロン	電気機器	2.1%
10 TDK	電気機器	2.0%

\*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 184)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2021.3末現在)

当月の東京株式市場は、米国の追加経済対策への期待から中旬にかけて上昇しましたが、下旬は一進一退の展開となりました。前月末に急落した反動から、初日こそ反発したものの、上旬は米国の金利動向に対する警戒感などから上値の重い推移が続きました。しかし中旬に入って米国で1.9兆ドル規模の追加経済対策法案が成立すると、景気回復期待が高まって、株価は大きく上昇しました。米連邦準備制度理事会 (FRB) はゼロ金利政策を2023年末まで維持するとの見方も支えとなって、株価は上げ幅を拡大し、TOPIXは約30年ぶりに2,000ポイント台を回復しました。その後は、日銀による上場投資信託 (ETF) の購入方法変更や、FRBによる米銀の資本規制緩和措置の終了など、日米の金融政策が軌道修正されたことや、欧州でコロナ感染が拡大していることなどが重石となり、株価は下落を強いられました。バイデン米大統領がコロナワクチンの接種目標を倍増させると表明したことを受け、反発する場面もありましたが、米投資会社による巨額損失の影響などが警戒され、月末に株価は再び弱含んで月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+5.71%、日経平均株価は+0.73%でした。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期付積立型新変額保険) の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期付積立型新変額保険) は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】 2003年12月1日
- 【資産分類】 日本株式
- 【運用方針】  
東証株価指数（TOPIX）採用銘柄を中心に分散投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】  
日本株式インデックス・ファンドVA1

### ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	162.50	—
2020年 3月31日	138.30	-7.30%
4月30日	139.47	0.85%
5月31日	151.33	8.51%
6月30日	148.67	-1.76%
7月31日	147.54	-0.76%
8月31日	153.44	4.00%
9月30日	159.53	3.97%
10月31日	154.87	-2.92%
11月30日	171.18	10.54%
12月31日	174.24	1.79%
2021年 1月31日	175.83	0.91%
2月28日	184.12	4.72%
3月31日	190.34	3.38%
3ヶ月変化率		9.24%
6ヶ月変化率		19.31%
1年変化率		37.63%
3年変化率		17.13%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3,548	2.0%
有価証券等		
日本株式インデックス・ファンドVA1	177,504	98.0%
その他	—	—
資産合計	181,053	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	181,053	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 日本株式インデックス・ファンドVA1 <適格機関投資家限定>の基本情報

- 【運用会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
- 【運用対象】 日本株式
- 【ベンチマーク】 TOPIX（配当金込）

### 運用状況

#### ■ 上位5業種構成比 (2021.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	16.97%
2 情報・通信業	8.95%
3 化学	7.17%
4 輸送用機器	7.16%
5 機械	5.51%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■ 組入上位20銘柄 (2021.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.17%
2 ソニー	電気機器	2.63%
3 ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.63%
4 キーエンス	電気機器	1.79%
5 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.45%
6 リクルートホールディングス	サービス業	1.34%
7 任天堂	その他製品	1.28%
8 信越化学工業	化学	1.22%
9 武田薬品工業	医薬品	1.20%
10 日本電信電話	情報・通信業	1.18%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

銘柄名	業種	構成比
11 日本電産	電気機器	1.17%
12 ダイキン工業	機械	1.03%
13 第一三共	医薬品	1.00%
14 東京エレクトロン	電気機器	0.99%
15 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	0.99%
16 KDDI	情報・通信業	0.97%
17 本田技研工業	輸送用機器	0.95%
18 村田製作所	電気機器	0.94%
19 HOYA	精密機器	0.93%
20 伊藤忠商事	卸売業	0.90%

#### ■ 主要指標 (2021.3末現在)

ポートフォリオ	値
銘柄数	2,188
β値*	1.00
推定トラッキング・エラー(年率)*	0.01%

\*対ベンチマーク

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# アセット・アロケーションSA (2021年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】 2003年12月1日
- 【資産分類】 アセット・アロケーション
- 【運用方針】  
国内外の株式等を主要投資対象としますが、投資対象には特に制限を設けず、積極的かつ長期スタンスの運用により円ベースでの資産の成長を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】  
さわかみファンド

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	189.34	—
2020年 3月31日	157.39	-7.08%
4月30日	158.49	0.70%
5月31日	174.12	9.86%
6月30日	169.17	-2.84%
7月31日	168.88	-0.17%
8月31日	174.85	3.54%
9月30日	184.30	5.41%
10月31日	182.31	-1.08%
11月30日	203.31	11.52%
12月31日	207.08	1.85%
2021年 1月31日	211.19	1.99%
2月28日	213.86	1.26%
3月31日	221.36	3.51%
3ヶ月変化率		6.90%
6ヶ月変化率		20.11%
1年変化率		40.64%
3年変化率		16.91%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	11,224	1.1%
有価証券等		
さわかみファンド	1,000,610	97.9%
その他	10,294	1.0%
資産合計	1,022,129	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,022,129	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### さわかみファンドの基本情報

- 【運用会社】 さわかみ投信
- 【運用対象】 国内外の株式、債券
- 【ベンチマーク】 特に定めません。

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2021.3末現在)

市場	銘柄数	構成比
東証1部	94	91.0%
東証2部	0	—
JASDAQ	4	0.7%
その他国内市場	4	0.9%
外国市場	11	1.5%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

#### ■銘柄数 113 (2021.3末現在)

#### ■上位10業種構成比 (2021.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	18.1%
2 機械	16.8%
3 化学	14.8%
4 精密機器	8.4%
5 輸送用機器	7.1%
6 ガラス・土石製品	5.3%
7 食料品	3.8%
8 ゴム製品	3.6%
9 小売業	3.0%
10 卸売業	2.0%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。  
※業種は東証33業種分類による。

#### ■組入上位10銘柄 (2021.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 日本電産	電気機器	6.80%
2 ダイキン工業	機械	4.79%
3 信越化学工業	化学	4.23%
4 浜松ホトニクス	電気機器	4.05%
5 TOTO	ガラス・土石製品	3.65%
6 プリヂストン	ゴム製品	3.63%
7 テルモ	精密機器	3.35%
8 花王	化学	3.07%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.68%
10 デンソー	輸送用機器	2.34%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2021.3末現在)

さわかみファンドは3月、金利の変動に揺さぶられながらも基準価額最高値を更新することができました。一時、欧州で変異株による感染再拡大が懸念され下げの展開となりましたが、結果的に先月末より上昇して終わることができました。  
現在、運用メンバーで注目しているのは米国景気と金利動向です。コロナ抑圧からの解放と、火に油を注ぐように政府から現金給付が行われ消費が過熱、FRBが想定よりも早い利上げに迫られる可能性があるからです。実際に米国経済のデータに顕著に現れています。レストラン予約、人の移動・小売動向・フライト・渋滞・職探し・生産活動など州によって違いはあるものの、コロナショック以前を既に上回っているものもあります。夏にかけてワクチン接種が進むことで景気がオーバーシュートすることも考えられます。景気が良くなることは喜ばしいですが、コロナ対策で緩み切った金融・財政への反動には注意が必要です。経済活動が活発化することにより金利の上昇以上に注目すべきは供給サイドの要因による物価上昇です。半導体不足、コンテナ不足、農業労働不足が価格上昇への起爆剤になりかねません。市場と実体の乖離、これは株価だけのことでなさそうです。(3月30日記)

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を示唆するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界バランスDSA (2021年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】バランス

【運用方針】

日本を含む世界各国の株式および公社債に分散投資を行い、中長期的な資産の成長を目指します。株式と債券の基本資産配分比率は6:4とします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

大和住銀グローバルバランスファンドSVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	201.34	—
2020年 3月31日	199.22	-8.97%
4月30日	210.57	5.70%
5月31日	222.84	5.82%
6月30日	228.77	2.66%
7月31日	237.99	4.03%
8月31日	249.12	4.68%
9月30日	243.07	-2.43%
10月31日	242.07	-0.41%
11月30日	256.31	5.88%
12月31日	264.24	3.09%
2021年 1月31日	262.85	-0.53%
2月28日	278.51	5.96%
3月31日	273.54	-1.78%
3ヶ月変化率		3.52%
6ヶ月変化率		12.53%
1年変化率		37.30%
3年変化率		35.86%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	5,013	2.0%
有価証券等		
大和住銀グローバルバランス ファンドSVA	246,799	98.0%
その他	—	—
資産合計	251,812	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	251,812	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 大和住銀グローバルバランスファンドSVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント

(投資顧問) ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド,  
ティエー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク

【運用対象】日本を含む世界各国の株式および公社債

【ベンチマーク】MSCIワールド・インデックス (円換算) : 60%、  
FTSE世界国債インデックス (円換算) : 40%

### 運用状況

#### ■資産構成 (2021.3末現在)

ファンド名	構成比
インターナショナル株式マザーファンド	55.2%
グローバル債券マザーファンド	36.0%
日本株マザーファンド	5.0%
短期金融資産等	3.8%

※各マザーファンドへの投資割合

#### ■インターナショナル株式 組入上位10銘柄

(2021.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.2%
2 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.2%
3 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	3.9%
4 UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア	3.9%
5 SCHWAB (CHARLES) CORP	アメリカ	金融	3.8%
6 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	3.0%
7 MASTERCARD INC - A	アメリカ	情報技術	2.7%
8 CATERPILLAR INC	アメリカ	資本財・サービス	2.4%
9 FERRARI NV	オランダ	一般消費財・サービス	2.3%
10 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 74)

#### ■グローバル債券組入上位10銘柄

(2021.3末現在)

銘柄名	国名	構成比
1 141 5年国債	日本	13.3%
2 US TREASURY N/B 1.875 02/15/51	アメリカ	5.6%
3 UK GILT 0.625 06/07/25	イギリス	4.4%
4 8 40年国債	日本	3.3%
5 US TREASURY N/B 0.125 01/31/23	アメリカ	3.1%
6 BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 0 02/15/31	ドイツ	2.0%
7 UK GILT 4.75 12/07/30	イギリス	1.5%
8 FRANCE OAT. 1.75 06/25/39	フランス	1.5%
9 BUONI POLIENNALI DEL TES 2.8 03/01/67	イタリア	1.4%
10 US TREASURY N/B 2 02/15/25	アメリカ	1.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 19)

#### ■日本株組入上位10銘柄

(2021.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ダイワ投信-トビックス	ETF	4.9%
2 NFTOPIX	ETF	4.8%
3 TDK	電気機器	2.6%
4 伊藤忠商事	卸売業	2.4%
5 ヤマハ発動機	輸送用機器	2.3%
6 イエローハット	卸売業	2.2%
7 良品計画	小売業	2.2%
8 HOYA	精密機器	2.2%
9 島津製作所	精密機器	2.0%
10 PALTAC	卸売業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 30)

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 世界債券ヘッジMA (2021年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	2,320	1.9%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	122,441	98.1%
その他	—	—
資産合計	124,761	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	124,761	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	104.90	—
2020年 3月31日	107.64	-0.81%
4月30日	107.93	0.27%
5月31日	108.14	0.20%
6月30日	108.88	0.68%
7月31日	109.55	0.61%
8月31日	108.53	-0.93%
9月30日	109.36	0.77%
10月31日	109.29	-0.06%
11月30日	109.30	0.01%
12月31日	109.17	-0.13%
2021年 1月31日	108.65	-0.48%
2月28日	106.18	-2.27%
3月31日	105.85	-0.31%
3ヶ月変化率		-3.04%
6ヶ月変化率		-3.21%
1年変化率		-1.66%
3年変化率		0.90%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率 (2021.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	36.9%	0.2%	0.1%
カナダ	1.7%	2.0%	0.0%
メキシコ	0.7%	1.0%	0.0%
日本	16.9%	16.6%	99.6%
オーストラリア	1.8%	2.2%	0.0%
シンガポール	0.4%	0.3%	0.0%
マレーシア	0.4%	—	—
ユーロ	34.1%	42.1%	0.2%
英国	5.4%	3.2%	0.1%
デンマーク	0.4%	0.3%	0.0%
スウェーデン	0.3%	0.2%	0.0%

	ベンチマーク	債券	通貨
ポーランド	0.5%	0.6%	0.0%
ノルウェー	0.2%	0.1%	0.0%
イスラエル	0.4%	—	—
キャッシュ等		31.2%	—
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2021年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

#### ■組入上位10銘柄 (2021.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	1.125	2022/2/28	7.7%
2 アメリカ国債	0.125	2022/6/30	6.8%
3 ドイツ国債	—	2021/6/11	3.4%
4 日本国債	1.800	2031/9/20	3.2%
5 イタリア国債	1.250	2026/12/1	2.0%
6 フランス国債	1.000	2027/5/25	1.8%
7 スペイン国債	0.250	2024/7/30	1.7%
8 フランス国債	4.500	2041/4/25	1.7%
9 アメリカ国債	1.250	2024/8/31	1.6%
10 日本国債	0.100	2022/9/20	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 280）

修正デュレーション=平均7.81年（ベンチマーク=同8.55年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：千円）

資産等の種類	金額	構成比
現預金	2,674	1.8%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド （為替ヘッジなし）	145,343	98.2%
その他	—	—
資産合計	148,018	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	148,018	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	123.68	—
2020年 3月31日	124.09	-3.00%
4月30日	123.62	-0.39%
5月31日	125.25	1.32%
6月30日	126.36	0.89%
7月31日	127.71	1.06%
8月31日	128.44	0.57%
9月30日	127.31	-0.88%
10月31日	126.72	-0.47%
11月30日	127.55	0.66%
12月31日	128.52	0.77%
2021年 1月31日	127.96	-0.44%
2月28日	127.50	-0.36%
3月31日	128.86	1.07%
3ヶ月変化率		0.26%
6ヶ月変化率		1.22%
1年変化率		3.84%
3年変化率		4.19%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率（2021.3末現在）

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	36.9%	-0.4%	36.2%
カナダ	1.7%	2.2%	1.7%
メキシコ	0.7%	0.7%	0.7%
南アフリカ	—	—	0.0%
日本	16.9%	18.5%	17.0%
オーストラリア	1.8%	2.1%	2.0%
シンガポール	0.4%	0.3%	0.8%
マレーシア	0.4%	—	—
ユーロ	34.1%	37.5%	34.2%
英国	5.4%	2.9%	5.6%
デンマーク	0.4%	0.3%	0.4%
スウェーデン	0.3%	0.4%	0.3%

	ベンチマーク	債券	通貨
ポーランド	0.5%	0.7%	0.6%
ノルウェー	0.2%	0.2%	0.2%
イスラエル	0.4%	—	0.4%
キャッシュ等		34.7%	—
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2021年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

#### ■組入上位10銘柄（2021.3末現在）

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	0.125	2022/5/31	10.0%
2 日本国債	1.800	2031/9/20	6.0%
3 アメリカ国債	0.125	2022/7/31	4.1%
4 日本国債	0.100	2022/3/20	3.6%
5 フランス国債	—	2024/3/25	2.2%
6 日本国債	0.100	2029/9/20	1.9%
7 スペイン国債	1.400	2028/4/30	1.6%
8 イタリア国債	3.000	2029/8/1	1.6%
9 日本国債	0.100	2021/11/1	1.6%
10 イタリア国債	1.600	2026/6/1	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 234）

修正デュレーション=平均7.82年（ベンチマーク=同8.55年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 短期金融商品

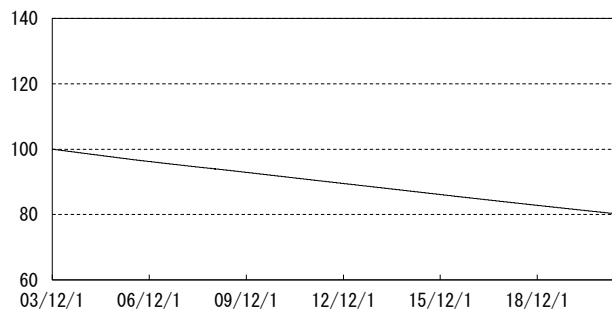
【運用方針】

円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象】

短期金融商品

### ■ ユニットプライスの推移



### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	71,507	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	71,507	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	71,507	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2018年 3月31日	83.53	—
2020年 3月31日	81.38	-0.11%
4月30日	81.29	-0.11%
5月31日	81.20	-0.11%
6月30日	81.12	-0.11%
7月31日	81.03	-0.11%
8月31日	80.94	-0.11%
9月30日	80.85	-0.11%
10月31日	80.76	-0.11%
11月30日	80.68	-0.11%
12月31日	80.59	-0.11%
2021年 1月31日	80.50	-0.11%
2月28日	80.42	-0.10%
3月31日	80.33	-0.11%
3ヶ月変化率		-0.32%
6ヶ月変化率		-0.65%
1年変化率		-1.29%
3年変化率		-3.83%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※マーケットの先行きが著しく読みにくい局面等で資金を一時的に待避させる目的でご利用ください。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る死亡保険金額、満期払戻金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、満期払戻金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■保険期間中に必ずご負担いただく費用

項目	費用
保険契約管理費	特別勘定の純資産総額に対して年率1.3%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.10%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。
危険保険料	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に危険保険料率を乗じた額(危険保険料)
死亡保障関係費	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に対し0.01%/月

\* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

### ■特定の取引の場合にご負担いただく費用

項目	適用	費用
保険契約関係費	月単位の契約応当日の前日末の積立金額が100万円未満の契約	毎月…250円
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.3%
解約控除費用	契約日から解約控除対象期間内に解約・減額・一部引出したとき	積立金および危険保険金に対して、所定の解約控除率を乗じて算出した金額

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険契約管理費」、「資産運用関係費用」、「危険保険料」、「死亡保障関係費」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除費用」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

## ご注意いただきたい事項

- 「プライムライフ」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額保険)です。
- 「プライムライフ」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 <b>東京海上日動あんしん生命保険株式会社</b> ホームページ <a href="https://www.tmn-anshin.co.jp/">https://www.tmn-anshin.co.jp/</a>  ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ <b>☎ 0120-155-730</b> 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---